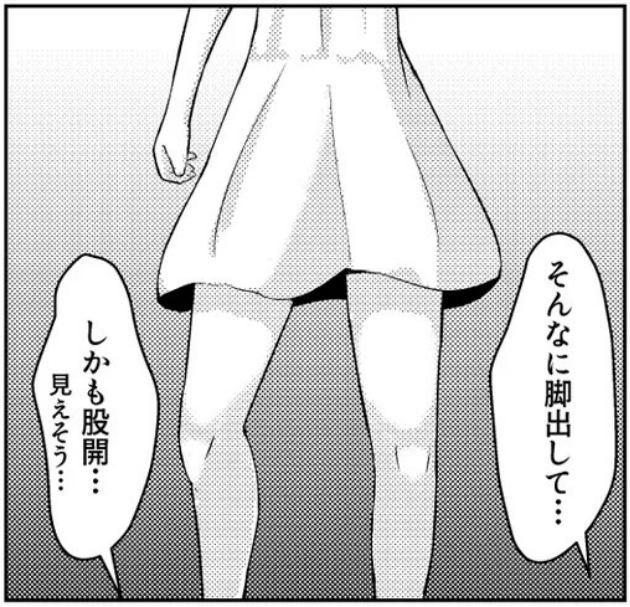
R18
FOR ADULT ONLY
ヒトツナソル
Presented by
異奏空間

急に改まってごめん
陽和に伝えたいことがあるんだ
!…うん!
ドクン
あの…ええと…
ドキ
ドキ
ぎゅ
……
~~っ
ごめん…ま、また明日
あ…
まだ…また伝えられなかった
陽和に僕の気持ち

幼馴染の陽和は小さい頃から
ずっと一緒に過ごしてきた
物静かだがおしとやかで
可愛らしい女の子だ
ゆうくん！
ひーちゃん！
わたし、ゆうくんとケッコンするの！
うん！約束！
この約束を本気にしているのが
僕だけだったらと思うと…
想いを伝えるのが怖くなる

翌日
昨日は陽和のこと考えてあまり眠れなかった…
メッセージしてみたけど既読がつかなかったな
もしかしてあれは陽和…？
髪下ろしてるのめずらしいな
ちょっと気まずいけど…
陽和！
ミニ
あれ…
制服じゃない…？
え…！？
ん…？
なんだ呼ばれた？


そんなに脚出して…
しかも股開…
見えそう…

そ…その格好は！？
あ～？
めんど…

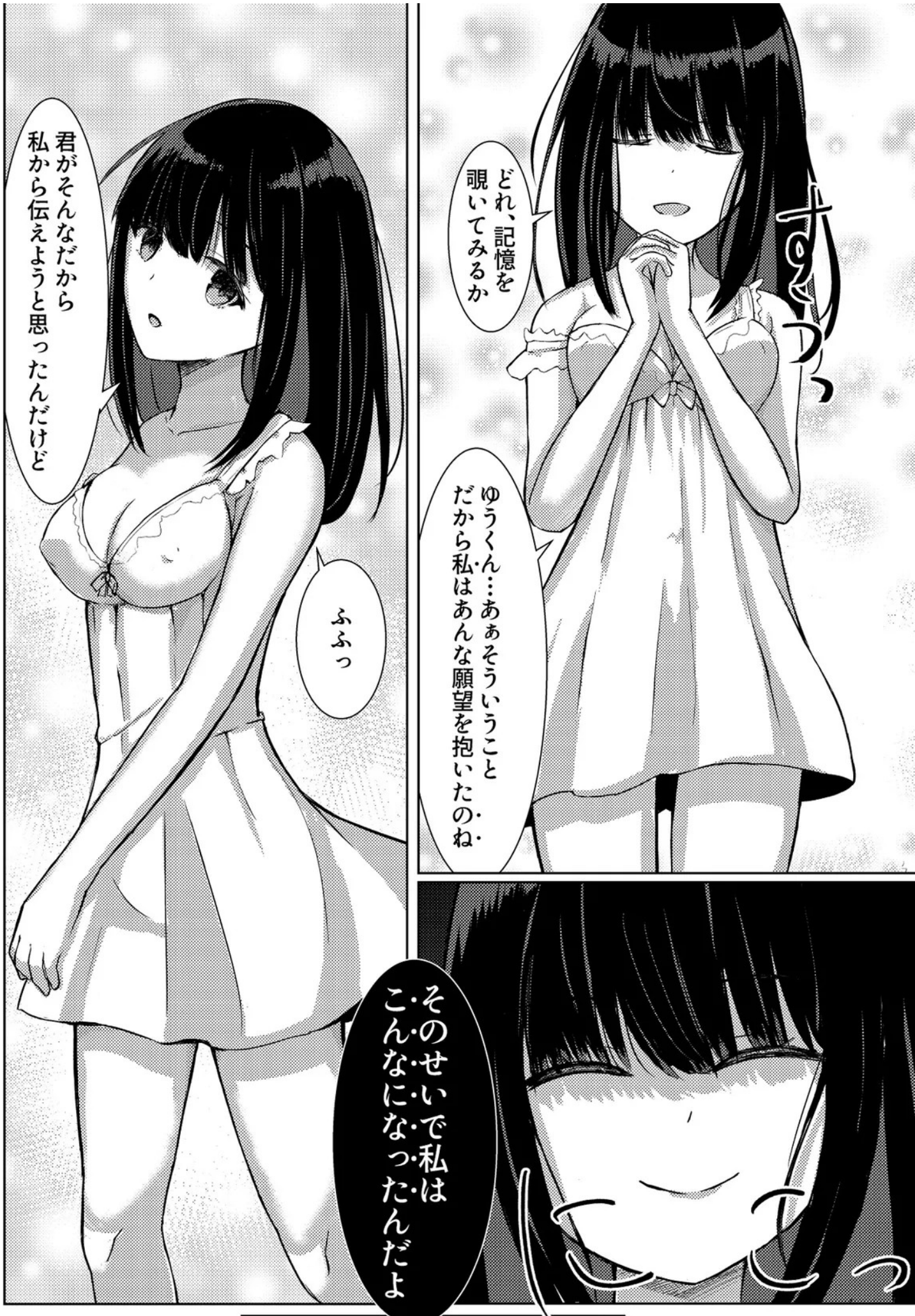
陽和、そんな薄着で外歩いちゃだめだよ
今日学校だよ？
早く支度しな
チッ
……

ごちゃごちゃとオカンかよ
てかもしかして知り合い？
この男何だ？
なんかものすごく機嫌が悪い…？
ゴッ
ブリ

誰って……
怒ってるにしてもちょっと酷くないか？
怒る？
なんで？

もういいや
おまえ…誰？
キッ

あ～
もしかして
お前が「ゆうくん」か？
え……
オラッ
うわっ
ちょっ…
冗談も大概に…！
カラダが反応してるこれはアタリだな
もう、そうならそうと言ってくれよ
そっかそっかぁ♪
何だ…この嫌な感じまるで陽和じゃないみたいだ


すっ
どれ、記憶を覗いてみるか
ゆうくん…あぁそういうことだから私はあんな願望を抱いたのね
ふふっ
君がそんなだから私から伝えようと思ったんだけど
そのせいで私はこんなになったんだよ

昨日の出来事教えてあげるね
あっ…
ま、また明日…！
ゆうくん…
私は残念に思う気持ちと同時に強いある欲を抱いた
いや…私から言うんだ
近くにいわくつきの誰も近づかない社があるのは知ってる？
人が立ち寄らない廃れた神社くらいに思われているけど、悪いものが集まるよう作られているんだって
負の感情を抱いたり無念の思いがあるとヒトも不意に引き寄せられる
失意の私はここに誘われちゃったわけ
なんでもいい…私の思い届いて
君への思いでいっぱいだった私は何も疑いなくただただ願った
ゆうくんに気持ちを……
ううん…それだけじゃ…足りない
ズズズズズズズズズ
ぼ〜っ

『ヒトツニナリタイ』
ズズズズズズズズズズ
ビクッ
はっ!?
あれ…?
ソノヨクボウ
オレガカナエテヤル
私…なにして…?
え…あ…?
ズズズズズズズズズズ

ズズズ…
あ、あれ…
身体…動か…
ズトン
オマエトオレ
ヒトツニナッテ
なっ
あっ
あガっ…
カク
ガクー
アっ…あたま
ハイっテぇ
ドクン
アッ
オレ
ハ…ハ…
混ザ…ル
アア
ヤダ
ゆうクン
ネガイカナエル
すう…
タスケ…
…あ
オレ
カラダ…？
アッ…コレ？
オンナ…？
ユウクン…？

えへへ♡
まぁそんなわけで
私、知らない男の人の魂に身体乗っ取られちゃった♡
ぐにゅ
まさかオレが女の身体になるなんてな
ちょっとばかり胸が大きいのが難点だが
ん…
もみ もみ
そんな…突拍子もないこと…あるわけ…
ニヤッ
なに?そんなこと言ってさっきからちらちらどこみてるのかな?
さっきこの格好のことをきいてきたよね?
えっちでしょ?これ実はねぇ…
グイッ

直視できない
カァァ
とりあえず…そんな格好でうろつくのはだめだよ
ひとまず建物に入らなきゃ僕の家の方が近いから行くよ
お？
ギュ
ふむ
このカラダ、手を握られたら鼓動が早くなった
ドキドキ
ゆうくんのことが好きすぎる
懐かしいと感じる
トクン
昔ここでよく遊んだらしい…

…さっきの話はまるで現実味ないけど
言動、行動…いろいろ違和感がある
陽和とはまるで違う…雑な男のような
ほ～

よっこらっと

おっと
ぶるん

陽和のおっ…
ゴクッ

小さい頃見たのと全然違う…
じゃなくて…！陽和…無防備に…
本当にどうしちゃったんだ…？
たぷ

あ～やっぱり
ニヤニヤ
男なら気になるよなぁ
おっぱい
最近良く見てるよね？私の胸
え…ぁ
照れなくていいんだよ？好きな子のだもんね？気になるよね
私、このおっぱい他の人より大きくて恥ずかしいし肩もこるし嫌だったんだでもゆうくんが悦んでくれるなら良かったなぁ

触ってみる？
おっぱい♪
ドクン
ぽよっ
ぽよっ
えっ!?
ドキ
あ～てか
いっそのこと
セックス
するか♪
ズズズ

ヒョイッ
ほら脱ぎたて～～
パサッ
可愛いと思わない？
オレが気に入ったやつ
この身体はおっぱい揉まれたぐらいじゃ満足できそうもないし
はあっ
はあ。
こうび♡
もちろんヤるだろ？可愛い幼馴染とのえっち、ゆうくんだっていつかはって想像してたっしょ？
こんな絶好のチャンス逃す手はないんじゃねぇ？
僕の知ってる陽和は絶対こんなこと言わないし言わない…。
君はいったい…
でも時々陽和の感じもする記憶がどうとか言ってたが…
さぁねぇ？身体は間違えなく陽和そのものだけど
あぁ…楽しみだなぁ女の身体でセックスするの
すりすり
すりすり
じわ

まあ鈍感ゆうくんにもわかるようにもう一度説明してやるか
かつて男だったオレ、悪霊に身体を乗っ取られちゃったの。陽和ちゃんはね
陽和ちゃんはゆうくんとひとつになりたかったけどオレがひとつになっちゃったってこったな！
そんな…
じゃあ本当の陽和は
今日からオレが本当の陽和だよ？
ズッ

もう面倒だなぁ
えい♪
うわっ
ズズ

君が優柔不断なおかげでオレはいい身体が手に入った私もゆうくんを物にできる
私たちの願い叶えてくれるよね？
ズズ…
アア♡
はあ♡
ね？もういいだろなぁ！
ズズ

だ、だめだ…！
…あ？
こんなことで陽和の身体を傷つけるわけにはいかない！
頼む…陽和からでていってく…
ズッ
ああもう！ノリ悪いなァ！
イラッ
パシッ
!!
ビクッ
てかさぁお前
状況わかってる？

ここで自害でもするか
オレさぁ、今この身体
どうにでもできるんだよ

どうせオレは元々霊体だ
別の身体に乗り移ればいい
な……！
そんなの絶対
だめだ！

でもヤラないんだろ？
はぁ
まぁ好きな男の前で死ってのもアリかもなぁ
わ、わかった

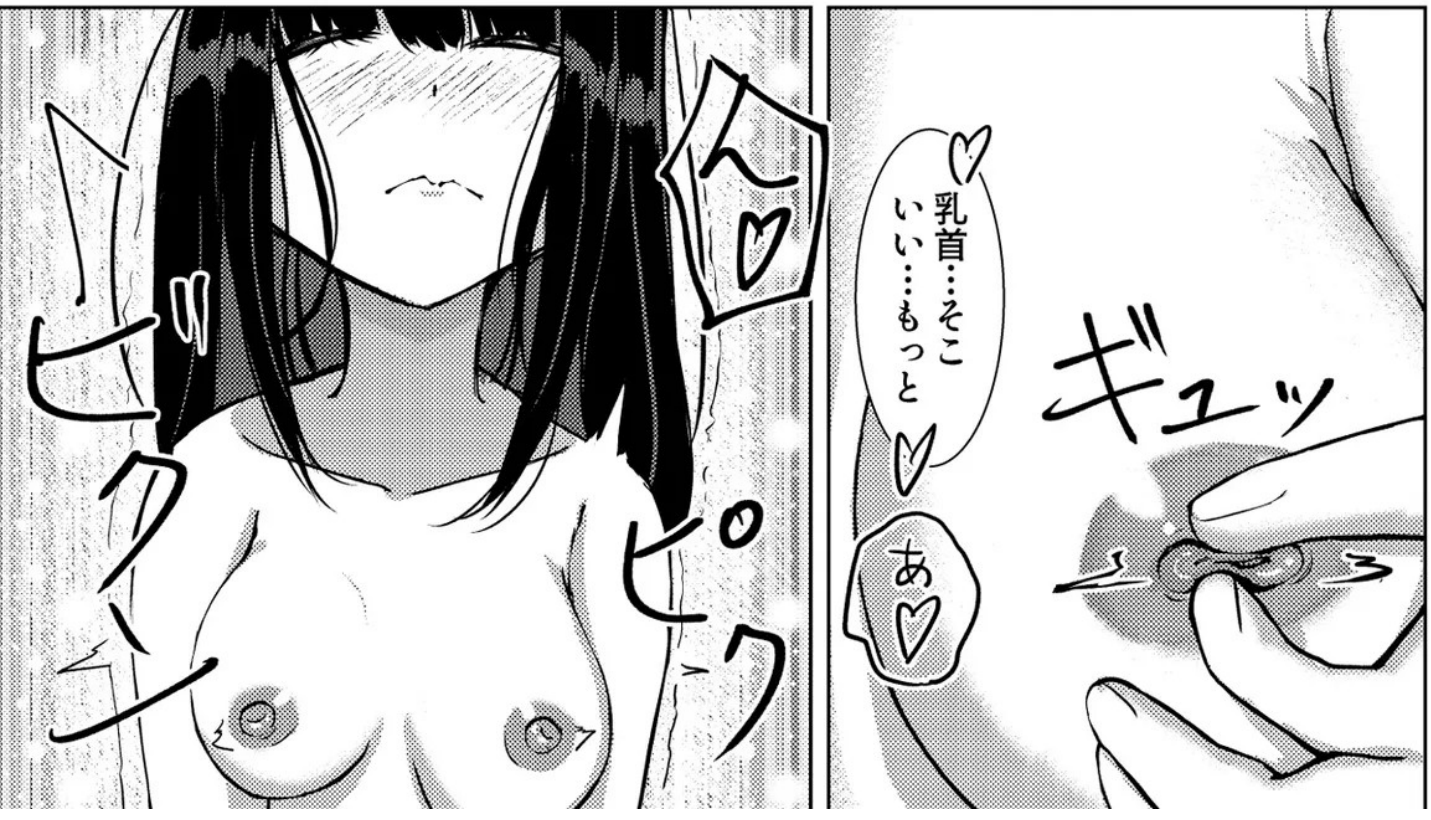
…しようせ、セック…

うんうん♪
そうだよねぇ
そうこないと♪
にこっ
最後にちゃんと
決めてくれて
私、嬉しい♡
ククッせめてヤるときは
陽和ちゃんでいてやるか
もじ…

よっと
わぁ！
ぽよん
すとっ

しゅん
さっきは怒鳴ってごめんね？
上からの眺めいいでしょ？
くそ…
陽和の匂い
おっぱい触って
欲しいな？
にこっ

ふにふに
くりゅ
んっ
女の乳首って大きいよね
ていうか私が大きい方なのかなぁ…
あ～
不思議な感じ
ぐにゅ
こいつは陽和じゃないのに…
僕は一体何をしているんだ
くそ…！どうしてこんなことに
それにしても陽和の身体どこも柔らかすぎる…
男に胸触られるのとか無理かなと思ったけど
ピクッ
んっ
はぁ
なかなかいいよじょうずだね
ぎこちない手つきだがこいつに触られたらなんでも気持ちいいだろうな


乳首…そこいい…もっと♡
あ♡
ギュッ
ん♡
ピク
ピク

軽くイッたのか
カラダがすごく悦んでる
と言うかこのカラダ
ゆうくんでイキ慣れてる
ハァ
ハァ
ズクン
ズクン
ピン
乳首だけで
こんなに
男の身体と
まるで違う…
ん♡

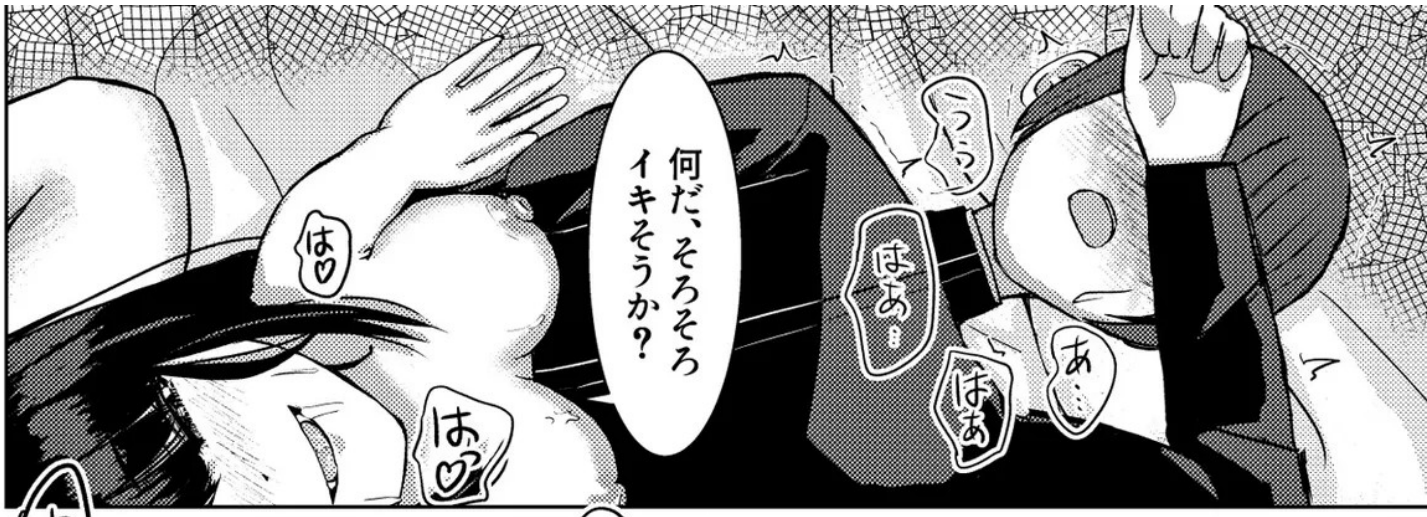
切ない…
もっと満たされたい
ひ、陽和…?
キス…したい
自分から
キスなんて…
オレ…ふふ
キスしたら絶対
キモチイイ…
ホシイ…ゆうくん

ん♡
ちゅっ♡
!?

やべぇ…
頭溶けそう
ん…
ナカ…熱い
くちゅ
くちゅ
そろそろ…
挿れたいな
うぅ…
れろ
お
立派じゃん♡
ボロン
すげえ
勃ってる
うっ
ピクッ
スリ
スリ
んっ
オレは…興奮してる
のにおまんこだから
何にもねえな
変な感じだぜ
クリ派待ちイ♡
あぁもう我慢できん
ぱぁ
カラダが欲しくて欲しくて
たまらないぃ♡
だらっ
ピク
ピク
あ、下の穴に
当たって…
はい♡
はい♡
は~♡

ぐっ…
ちゅ
んくっ
ぐぱぁ
…っ
こんっ
ぱくっ
ぱくっ
ぜ、全部入ったぁ♡
童貞卒業オメデトゆうくん♡
はぁ♡
はぁ♡
ギチ
ギチ
ぬちっ

えへへへ
はぁ♡
キモチイイなぁ、ちんこ挿れるの♡
なんて顔してるんだ陽和…
ハァ…
ハァ…
あぁ…
締付け…すごい
ナカ…熱い…
ん…
ぐぐぐ
あ♡
すん
ぱちゅ
うっ
はぁ
はっ♡
へっ♡
はぁ
ぱん
ぱん
ぱん
うぁ…


何だ、そろそろイキそうか？
はぁ
はぁ
あ…
は♡
は♡

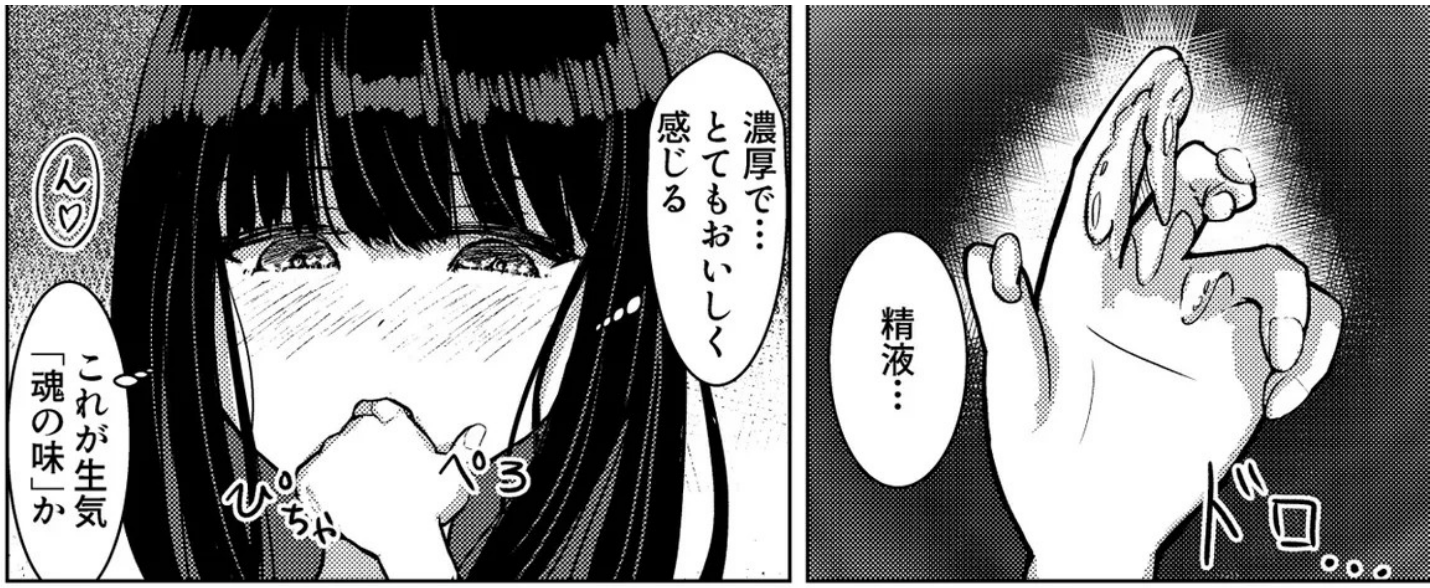
あ～～
こっちもそろそろやば♡

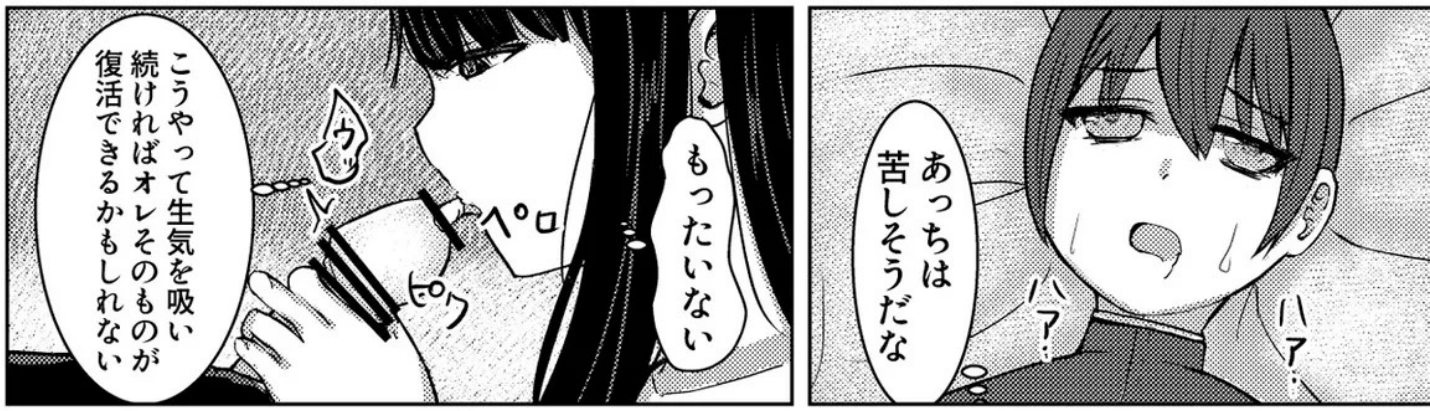
あぁ♡
あ♡
イク♡
奥♡
はぁん
はぁん

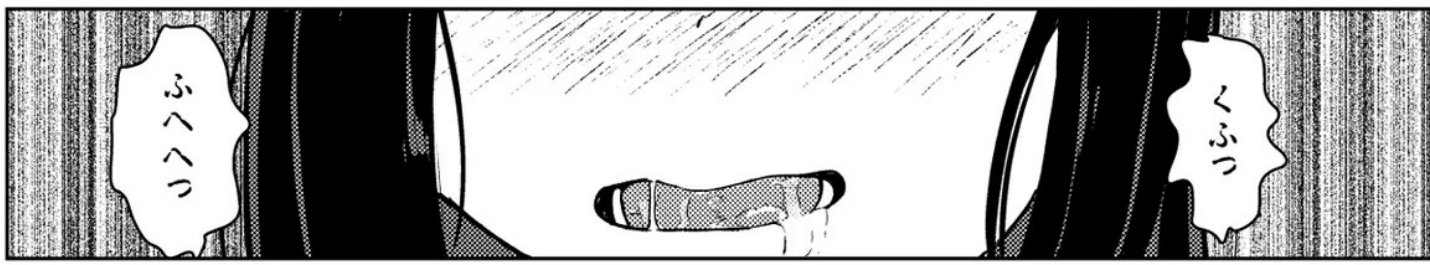
ナカ♡
ビクッ
あっ♡
ハァ♡
ビクン
ビクン

イグ♡
ゾゾゾ♡
ボ♡
ビクビク
ビュル

う…ぁ…
搾り取られる…
…ん
…えっ
お腹の奥から
ナニか駆け上がって
ビクビク
!?
オッ♡
ビクビク
シャ～
ピュッ
うへぇ…気持ちい…
いまの…なにぃ♡
ヒク
ぴゅっ
……ちから…?生命力がみなぎる
生気がオレの魂に直接流れてくる…
ん♡
な…なるほどぉ
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
コレはいい
ぬちっ
ドロッ


精液…
ドロ…
濃厚で…
とてもおいしく
感じる
ぴちゃ
ぺろ
ん♡
これが生気
「魂の味」か


あっちは
苦しそうだな
ハア…
もったいない
ウッ
ペロ
ピク
こうやって生気を吸い
続ければオレそのものが
復活できるかもしれない


くふっ
ふへへっ

それまでは
このカラダとこの男は
ふにっ
んっ
有効に活用させて
もらうとするか
ここまでやったんだし
私とはもっともっと
深い仲として
これからもよろしくね
ゆうくん♡
へへっ
んじゃ学校行こうぜ♡
あっ制服家だった
私のウチ寄ってこっか♡

あとがき

はじめましての方、お久しぶりの方
ゆーさんだーです。

本書を手にとっていただきありがとうございます。
こうやって今無事？に穏やかなあとがきの文章を
つらつら書いているわけですが、
今年は公私ともにギリギリのチャレンジ続きでした。
今振り返れば気でも触れていたのではと思うような日々。

今年は自分史上の残業時間を更新したり、そんな月に引っ越しをし
更にはサークルカットまで作っていたという狂気。
ピークは超えつつも忙しさは年末の今もずっと引きずっており
原稿は綱渡り。まさに戦い、といった感じでした。８月は本当に辛かった…。

今回は幼馴染が乗っ取られる憑依乗っ取りになりましたが
一人称的なことも描きたかったので要所取り入れつつ
憑依される描写も外せない…と結構詰め込んだ気もしますが
自分らしい作品にできたとは思ってます。
でも、実はネタ的には1/3ぐらいしか達成できておらず、
続きを描ければなんて思ってますが、どうなるかは神のみぞ知る…

今回は本番あり描写なので、前作を経て個人的に課題だったエロは
頑張れたんじゃないかなと思っております。

それと今回は副題としておっぱいをすごい描きたかったので
おっぱい描きまくりました。満足です。
私の乳の大きさラインは多分このあたりが限界値だと思います。

このままだと無限に書くのでこのあたりで締めを。
またお会いしましょう！ありがとうございました！

ゆーさんだー

Pixiv

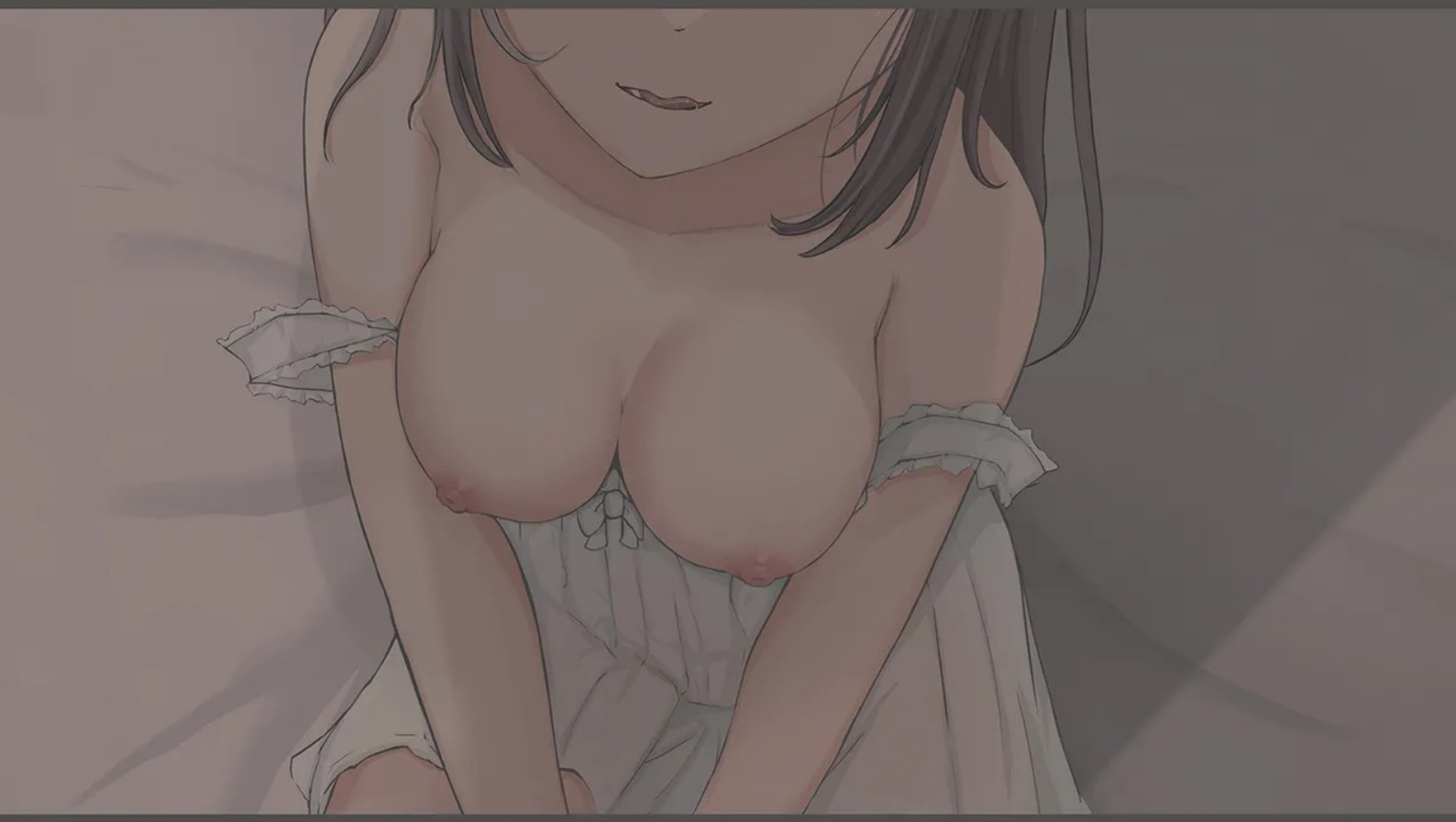
X(Twitter)

奥付

タイトル　：ヒトツニナル
発行日　　：2024年12月30日
サークル名：異奏空間
発行者　　：ゆーさんだー

本書を無断で複製・転載・アップロード・転売・AI学習等を禁じます。
本書を18歳未満の方が閲覧することを禁じます。

ヒトツニナル



Presented by

異奏空間

ゆーさんだー